



友好都市協定（ふくろう協定）

豊島区と秩父市は、昭和 58 年の姉妹都市宣言以来、数多くの交流事業を積み重ね、両都市の絆を深めてきました。

姉妹都市宣言から四半世紀が経過し、両都市が個性ある成長と発展を遂げたいま、私たちは改めて姉妹都市の意義を確認するとともに、都市交流から生まれる豊かさを次の世代に引き継いでいきたいと願っています。

そこで、池袋と秩父を結ぶ西武秩父線開通 40 周年を記念するこの年に、文化、教育、産業、そして環境など、両都市の特徴を活かした交流をさらに広げていくため、ここに新たな友好都市協定を締結します。

新たな協定は、池袋のシンボリック的存在である「梟」と、秩父地域の観光拠点の一つである秩父神社の「北辰の梟」のつながりにちなみ、新たな協定を「ふくろう協定」と呼ぶこととします。そして、知恵の象徴とされる「梟」の羽ばたきが照らす道筋に従い、さらに豊かな友好関係を築いていくことをここに約します。

平成 21 年 11 月 14 日

豊島区長

高野之丈

秩父市長

久喜邦康

立会人

後藤高志

西武鉄道株式会社代表取締役社長